

こんな活動です

# 「地域の中で笑顔輝く平和っこ」の育成を目指してつながる学校と地域

活動名

奈良県大和郡山市

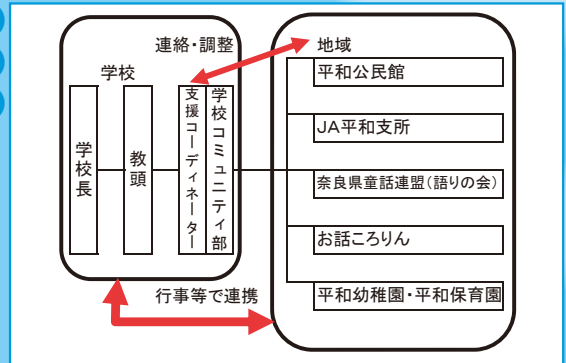
平和小学校コミュニティ

関係する学校名

平和小学校

基本データ	学校支援活動	総括コーディネーター数	地域コーディネーター数	ボランティア登録数	学習支援	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
		1人	3人	90人	無	25年度	有	無	無
	地域未来塾	総括コーディネーター数	地域コーディネーター数	ボランティア登録数	子供の平均参加人数	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
		1人	3人	8人	年間開催日数	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
		実施場所		学習支援	放課後児童クラブとの連携				
		3階図書室及び体育館		無	連携なし				
放課後子供教室	総括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携	
	1人	3人	8人	30日	23年度	有	無	有	
土曜日の教育活動	総括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	学習支援	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携	
コミュニティ・スクール	指定日					委員数	児童生徒数	学級数	

体制図



- 活動概要・経緯**
- 「開かれた学校づくり」を目指し、校務分掌に「学校コミュニティ部」を設置する。
  - 学校長が支援コーディネーターに任命した教職員が、各団体との連絡調整を行う。
  - 学校コミュニティ部の担当は、支援コーディネーターの連絡調整を受け、各行事の案件を作成、提案する。
  - JA 平和支所の青年部の方々との農業体験、奈良県童話連盟（語りの会）の方による語り部童話会、近くの平和幼稚園、平和保育園との保幼小交流、また平和公民館のクラブ員の方々との交流と、様々な地域の方との交流を行っている。

## ● 活動の特徴・工夫

### 【特徴的な活動内容】

- 「語り部童話会」は、阿礼祭の一環として行われ、子供たちに昔話を語っていただく行事であり、昭和5年から続いている。今年で第87回を迎え、本校の教育の大きな柱となっている。
- 交通見守りボランティアが登下校中に、通学路に立って、子供たちの安全な登下校を見守っている。
- 平和公民館の平和水彩画クラブや書道クラブ、三味線クラブとの交流はスタートして3年目であり、作品展示や発表会など双方向の取組が進んでおり、学校や市の広報を通じた活動でテレビ放映や県主催の事業での発表にもつながった。
- 小学校6年間を見通し、各学年がそれぞれの団体の方と話し合い、お互いに触れ合える内容を、年々より良いものにしていった。
- 3学期には、「ボランティアさん感謝の集い」を実施し、卒業を控えた6年生が演奏を披露したり、「農業体験」で収穫したお米で作った料理をご馳走したりするなど、学校から地域へ感謝の気持ちを伝えている。

### 【実施に当たっての工夫】

- 担当が個々に行っていた連絡調整を支援コーディネーターが担うことで、各団体に対する学校の窓口が一本化され、明確になった。
- 校務分掌を見直し、新たに「学校コミュニティ部」を設置することで、校内体制がスリム化され支援コーディネーターの連絡調整を受けての案件づくりや提案が図られるようになった。
- 開かれた学校を目指した活動を広げていくため、支援コーディネーターが各団体とのパイプ役となっている。

## ● 事業を実施しての効果・成果

- お互いの思いや意見を出し合う事前の打合せを細かく行うことで、当日の活動がより充実したものになってきている。
- 地域の方が様々な交流を通じて学校教育活動に参加して下さることで、児童と地域、教職員と地域との結びつきが以前より深まってきた。
- 本校の研究主題である「道徳性を育む」に関わって、各交流は児童の「感謝」「郷土愛」を高めるだけでなく、活動における自信や喜びの気持ちから自尊心を高めることにもつながっている。



語り部童話会  
(真太神社にて)



平和公民館  
水彩画クラブ交流